

## 編集後記

デジタル化によって現地社会とのつきあいも変わった。と書き出すと、高尚なフィールド論になりそうだが、小生にとってのいちばんの変化は、金の無心が携帯電話に直接かかってくるようになったことだ。時差にかまわず午前3時に、ワンギリで（折り返し電話くれの意）。慣れとは不思議なもので、今では催促がこない、先方が元気かかえって心配になる。一方、当方が海外にいるときに「〇日までに書類のご確認と提出を……」という日本からのご丁寧なメールに出会うと、血圧がはねあがる。

本号では、みんなぱくの開館40周年をみすえて、デジタル化によるフィールドワークの変貌を中心に特集を組んだ。また次号は40周年記念号であるが、プレ記念号ということで、イラストレーターのスズキコージさんによる絵でさいわいにも表紙を飾ることができた。時代やテクノロジーが変化しようと、本誌が読者諸氏のご協力でありたいことに変わりはない。今後もみなさまからのご支援をお願いしたい。（丹羽典生）

●表紙：イラスト スズキコージ

題名 「メラルザイルン王 (MERALZAILN)」

古代民博城の地下奥深くの洞窟に、今も住むメラルザイルン王は、地上に這（は）い上がろうとして掘り進み、もともと左右 12 本ずつあった指も、画のようになりはて、両眼は、みごとに破裂し、命の水を飲みながら、復活の日を願っている！

次号の予告

特集

「みんなぱく開館 40 周年」(仮)

みんなぱくをもっと楽しみたい  
人のために—会員制度のご案内

### 国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんなぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

### みんなぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんなぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

### 国立民族学博物館キャンパスメンバース

みんなぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。

（電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00）

## 月刊みんなぱく 2017年10月号

第41巻第10号通巻第481号 2017年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生（編集長） 寺村裕史 三島禎子

南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欒 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

#### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

